

# 「雄志」

## 民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

### 【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail: info@hajime-yatagawa.com

HP: www.hajime-yatagawa.com



民主党千葉県第10区総支部長

前衆議院議員

谷田川はじめ

## 党派を超えた

### 支援を得るために

10月30日付けで、民主党第一次公認内定として、私谷田川はじめが千葉10区の候補予定者となりました。次期衆院選での必勝を期して、一步一步着実に前進していきたいと存じます。

次の衆議院選挙で当選するには何が必要か？ 昨年末の落選以来、自問自答しながら活動して参りました。小選挙区制という選挙制度は、平成8年に実施されて以来、これまで6度行われてきました。それまでの中選挙区制度は、一つの選挙区から3人、5人を当選させる仕組みだったため、同じ党の公認候補が複数立候補し、競い合いました。それ故有権者は、党を選ぶというよりも、人物を選ぶ要素が強かったと思います。

しかし、現行制度は、一つの選挙区から一人を当選させる仕組みであるため、それぞれ党の公認候補は一人のみです。どの政党に政権を託すかという判断の下、有権者が一票を投じる傾向が強くなります。したがって昨年末の選挙のように、民主党に失望した有権者は、当然のことながら民主党候補には入れません。4年前はそれと全く逆に民主党に大きな期待が寄せられ、公認候補の私も勝利することができました。以上のように小選挙区で当選する大きな要素は、当たり前と言えば当たり前ですが、所属する政党が有権者からどれだけ支持されているかです。現在の民主党の状況について、

多くの方からご心配頂き大変申し訳なく存じます。今は辛抱の時と想っています。

しかし、所属政党だけが全てではありません。事実、昨年の総選挙では、逆風であったにもかかわらず、27名の民主党候補者が小選挙区で当選しています。それら当選者を得票率上位5位までを見てみると、岡田克也(64・1%)、玄葉光一郎(62・3%)、細野豪志(59・0%)、安住淳(57・9%)、野田佳彦(57・3%)となります。みんな認知度抜群の政治家です。すなわち、有権者は所属政党よりもその地区を代表する政治家として、その人物に託したのです。このことは、その選挙区で政治家としての存在感が大きければ、所属政党よりも、人物で選んでくれる可能性が大いにあることを示しています。

3年3ヶ月という短い期間ではありませんでしたが、私は地元選出議員としてそれなりに実績を残すことができたと思っています。特に震災から復興に関して誰しも真似できないような仕事をしたと思っています。それが十分に一般有権者に伝えることができなかつたことが悔しいです。その反省に立つて、私自身が千葉10区のために懸命に仕事をする政治家であることを訴え、党派を超えた支援者を得ることができるよう頑張つて参ります。皆様のご理解とご協力を節にお願致します。

平成二十五年十一月

谷田川はじめ

# 千葉10区内5市 1町を訪問

や県に対する要望を国会議員や地方議員が各市町に出向き聴取するもので、に同行する形で谷田川はじめも参加し、香取市、銚子市、旭市、匝瑳市、



香取市からは、軸丸副市長らが出席

## 香取市からの要望

- 地域医療の充実強化。特に県立佐原病院における小児科や産婦人科医師の確保
- 国道356号の整備促進
- 成田小見川鹿島港線の整備促進
- 佐原椿海線の整備促進
- 市が実施する道路整備の支援

## 銚子市からの要望

- 医師等確保対策の充実について
- 子ども医療費助成制度の創設について
- 重度心身障害者(児)医療給付改善事業における助成方法の変更について
- 空家に関する対応策について
- 海岸漂着物の円滑な処理について



銚子市からは、青柳政策企画部長らが出席。民主党からは、鎌倉市議が同席

## 旭市からの要望

最近の円安や原油高で、施設園芸用燃油が高騰していて、農家経営が厳しい状況に置かれている。何らかの支援措置を講じて欲しい。



旭市からは、明智市長らが出席

# 「出前民主党」を実施

8月26日(月)に「出前民主党」の活動を行いました。「出前民主党は」、国毎年この時期に民主党県連主催で実施しています。長浜、小西両参議院議員横芝光町、成田市の順に訪問。活発な意見交換が行われました。

詳しくは、以下の通りです。

## 匝瑳市からの要望

- 医師確保に対する支援措置について
- 河川に接続する小水路等における津波対策等整備事業の実施について



匝瑳市からは、太田市長らが出席。民主党からは山崎市議が同席



横芝光町からは、久本副町長らが出席

## 横芝光町からの要望

- 地方自治体の病院運営に対する財政支援について
- 観光資源である海岸の保全について
- 成田空港周辺南部地域の振興策について
- 横浜税関から東京税関への管轄税関の変更について
- 航空機騒音対策エリアの拡大について

## 成田市からの要望

- 成田空港のアクセス整備促進について
- 保健・医療体制の充実について
- 太陽光発電及び住宅用省エネ設備について
- 成田空港環状・放射状道路の整備について



成田市からは、関根副市長らが出席。民主党からは、海保、伊藤両市議が同席

## 「出前民主党」関係省庁からヒアリング



小西参議院議員とともに担当者からヒアリング

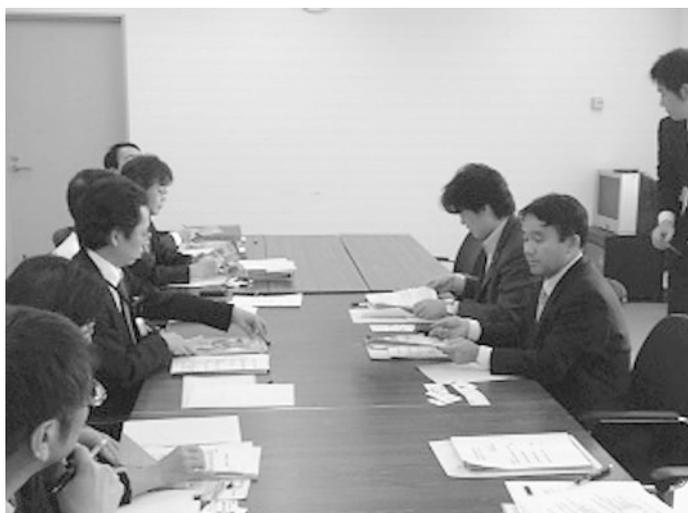
5市1町を訪問して聴取した内容を踏まえ、9月20日小西参議院議員とともに議員会館会議室で、関係省庁担当者からヒアリングを行いました。市町の要望ですぐに実現できるものは少ないですが粘り強く働きかけていくことが大切です。成功の要諦は、成功するまで続けることにあるを肝に銘じたいと思います。しかし、なかには弾力的な運用で、実現できるものもありました。横芝光町から要望のあった管轄税関変更の件です。

早速横芝光町の久本副町長に連絡致しました。また旭市から要望のあった施設園芸用燃油の高騰対策については、燃油の消費を抑える施設整備を行う農家に対して、助成制度があることが分り、9月24日に旭市役所に足を運び、それを説明させて頂きました。他の要望に関しても、関係省庁の対応がまとめ次第報告させて頂きます。



旭市明智市長に報告

## 千葉県健康福祉部 鈴木保健医療担当部長らと意見交換



健康福祉部鈴木保健医療担当部長らと意見交換

出前民主党で、各市町からの要望で一番多かったのが、医師の確保対策でした。11月1日に小西参議院議員とともに千葉県庁に足を運び、健康福祉部鈴木保健医療担当部長らと面会し、意見交換を行いました。これまでの県の医師確保対策の内容を聴取しましたが、なかなか決め手がないと感じました。また、先日香取市が、県立佐原病院と小見川中央病院を統合して、小見川にサテライト病院を作る構想を県に提案したことが議題となり、県の医療計画の整合性もあり、すぐには結論は出せないが、香取市と充分協議することを約束してくれました。

## 田嶋県連代表とともに銚子漁協を訪問



中央が谷田川はじめ、その左から田嶋県連代表、小西参議院議員、鎌倉銚子市議、谷田川の右が坂本銚子漁協組合長

福島原発事故に伴う風評被害を大きく受けた千葉県の水産業。一昨年8月に、千葉県産のすべての水産物が風評被害も含めて東京電力からの損害賠償の対象となったものの、一部支払いが遅延している状況にあります。また、ここにきて汚染水問題で、韓国が福島や千葉などの8県からの日本の水産物を輸入禁止にするなど、漁業関係者の不安は募るばかりです。そこで、民主党県連として千葉県漁業者の状況を把握するため、田嶋県連代表らとともに銚子市漁業協同組合を訪問。坂本組合長と面談しました。田嶋代表は1日前に韓国から帰国したばかりで、与党セヌリ党の黄代表と水産物輸入禁止問題を協議したことを報告。黄代表から韓国国会議員とメディアの代表を日本に派遣して、日本の水産現場を視察したいとの提案があったことを紹介。また、小西参議院議員は、東電からの損害賠償が速やかにかつ十分に支給されるよう働きかけることを約束しました。

## 民主党議員の結束を確認

千葉県10区には、民主党籍のある地方議員が4人います。田嶋県連代表が来銚したのを機に、全員銚子に集ってもらい、料理屋で懇親会を開きました。海の幸を堪能しながら、忌憚のない意見交換を行いました。



左から山崎等匠瑛市議、伊藤昌一成田市議、海保茂喜成田市議、谷田川はじめ、田嶋要県連代表、小西洋之参議院議員、鎌倉金銚子市議

## 花斉会(野田グループ)の合宿勉強会に参加



手前右から3番目が野田前総理  
奥一番右が谷田川はじめ

谷田川はじめは民主党内で、野田グループに所属しています。グループの名称は花斉会。中国語の百花斉放から取ったもので、多彩な文化を開花させるという意味です。会のリーダーである野田佳彦氏が命名したもので、皆が花を咲かせるようにとの願いがこめられています。

その合宿勉強会が9月1日から1泊2日の日程で蓼科東急リゾートで行われ、谷田川はじめも参加しました。憲法改正問題、TPP、行財政改革をテーマに、それぞれ武正公一衆議院議員、近藤洋介衆議院議員、蓮舫参議院議員が講師を務め、活発な議論が交わされました。

## 元競輪選手 梶山祐司氏に 大いに刺激されました

10月7日午前6時からの成田市倫理法人会のモーニングセミナーに出席。「もうダメだ。そこから本当の人生が始まる」と題して、元競輪選手の梶山祐司さんの講演に聞き入りました。

努力に努力を重ねることが、いかに重要かを力説され、一日3時間半の睡眠で走りに走り、ペダルをこぎながら眠ってしまうこともあったとのこと。

これまで大成した人を側で見てきて、次の3つの共通点があることを指摘されました。第一は、素直な心を持っている。第二は、基礎がしっかりできている。第三は、大きな夢を持っている。

そして、人間逆境に陥った時こそ、本当の自分が試されることを何度も強調されました。まさに、今の自分にとって、とてもタイムリーな講話でした。最後に不撓不屈のエネルギーを頂戴したいと思い握手させてもらいました。





八筋川観音祭礼で挨拶(8/17)



広島原爆資料館を視察(8/28)

# はじめの活動写真



成田市芝バレーボール大会で挨拶(8/18)



飯岡後援会の皆さんと恒例のバーベキューパーティー(8/31)



民主党県連有志で東京電力柏崎刈羽原子力発電所を視察(9/13)



長岡市にある山本五十六記念館を訪問(9/14)



写真家椎名修氏の個展を見学(9/19)



佐原高校同窓会佐原支部の皆さんと伊豆に親睦旅行(10/27、28)



小見川サッカー交流大会で挨拶(11/2)



香取市民文化祭小見川会場で似顔絵を描いてもらう(11/2)

日本、そして千葉10区をよくするために  
谷田川はじめを応援する  
輪を広げて下さい！



○ポスター掲示のお願い

左記のポスターを千葉10区内に  
貼り出して頂けませんか？

○あなたの力をお貸し下さい

ポスター掲示、チラシのポスティング、駅頭行動  
イベント企画・準備などボランティアスタッフ募集  
しています。

○後援会ニュース「雄志」

定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」  
を年4回発行しています。あなたのご意見を反映  
します。

年会費一口2,000円(何口でも可)

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288「谷田川元後援会」

【谷田川はじめプロフィール】

昭和38年	1月17日香取市に生まれる
56年	千葉県立佐原高校卒業
60年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅(株)入社
63年	(財)松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策 スタッフとして活動
平成3年	衆議院議員山村新治郎秘書
5年	千葉県議会議員初当選 以後4期連続当選
21年	衆議院議員初当選 拉致問題特別委員会理事 国土交通委員会委員 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
24年	再選を目指したものの惜敗
【現在】	民主党千葉県第10区総支部長 千葉県ハンドボール協会会長

次の地域のお知り合いの方を  
是非ご紹介下さい。



ご連絡お待ちしております

TEL 0478-54-5678

FAX 0478-52-6991

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川  
事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調  
整がつけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。